



10月10・11日、第23回全国川サミットin香取が開催されました。10日、与倉屋大土蔵において山倉小学校の児童による「山倉の鮭祭り」と「鮭の放流」の研究発表が行われ、翌11日、式典においてサミット宣言（写真）が行われました。

9月定例会

一般会計補正予算・平成25年度決算など38議案を可決・承認・認定 「栗源市民センターが12月にオープン」

平成26年9月定例会は、8月26日から9月24日までの30日間にわたり開催されました。本定例会には、平成26年度香取市一般会計補正予算議案など25件、平成25年度決算認定の13件、陳情1件が提出されました。

26日の初日は、諸般の報告・会期の決定の後、歳入歳出予算に8億1729万8千円を追加し、補正後の総額を318億5281万円とする一般会計補正予算案の一部改正など25議案報告4件、決算認定の13件について、市長より提案理由の説明が述べられました。

28日は、議案第1号から第25号について、2人の議員から質疑の後、各常任委員会に付託。決算認定13件については、2人の議員から質疑の後、決算審査特別委員会を設置して、審査を付託。陳情1件について、経済建設常任委員会に審査を付託しました。

3日・4日の一般質問で、8名の議員が市政全般にわたり質問を行いました。8日から10日は、決算審査特別委員会が開かれ、審査が行われました。

16日・17日は、各常任委員会が開かれ、議案等の審査が行われました。24日の最終日は、各常任委員長から審査結果が報告され、採決した結果、議案第1号から第25号について可決・承認されました。次に、決算認定第1号から第13号については、一人の議員の討論があり、採決の結果、いずれも認定されました。

9月定例会の日程

8月26日(火)	本会議
28日(木)	本会議
9月3日(水)	本会議(一般質問4人)
4日(木)	本会議(一般質問4人)
8日(月)	決算審査特別委員会
9日(火)	決算審査特別委員会
10日(水)	決算審査特別委員会
16日(火)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
17日(水)	経済建設常任委員会
24日(水)	本会議

可決された主な議案

議案第10号 香取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
 平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、「子ども・子育て支援制度」が創設されました。特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について、法に基づき、国の基準を踏まえて条例を制定するものです。

議案第17号 香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
 平成27年4月1日付で、湖東小学校と新島小学校を統合するため、市が設置する小学校の名称から湖東小学校を削除するものです。

議案第18号 香取市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 香取市栗源市民センターの設置に伴い、保健センター機能を同市民センターに移行するため、栗源保健センターを廃止するとともに、現在、併設の児童館及び児童クラブとしての利用が進み、保健センター事業の実施がない山田保健センターを廃止するものです。

議案第22号 香取市地域活動支援センターあけぼの園及び第2あけぼの園の指定管理者の指定について
 平成27年4月1日から平成32年3月31日までの期間において、香取市地域活動支援センターあけぼの園及び第2あけぼの園の指定管理者として「社会福祉法人香取市社会福祉協議会」を指定するものです。

議案第23号 香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者の指定について
 平成27年4月1日から平成32年3月31日までの期間において、香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者として「NPO法人香取の地域福祉を考える会」を指定するものです。

12月21日(日)は、市議会議員一般選挙の投票日です。

- 投票時間 午前7時から午後8時
- 開票 午後9時15分から香取市民体育館で行います
- 定数 22人

投票日当日、仕事やレジャー等で投票に行けない人は、期日前投票ができます。
 皆さん、棄権しないで投票しましょう。
 前回(平成22年12月)の投票率は、57.09%でした。

議案第10号 香取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
 平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、「子ども・子育て支援制度」が創設されました。特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について、法に基づき、国の基準を踏まえて条例を制定するものです。

議案第17号 香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
 平成27年4月1日付で、湖東小学校と新島小学校を統合するため、市が設置する小学校の名称から湖東小学校を削除するものです。

議案第18号 香取市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 香取市栗源市民センターの設置に伴い、保健センター機能を同市民センターに移行するため、栗源保健センターを廃止するとともに、現在、併設の児童館及び児童クラブとしての利用が進み、保健センター事業の実施がない山田保健センターを廃止するものです。

議案第22号 香取市地域活動支援センターあけぼの園及び第2あけぼの園の指定管理者の指定について
 平成27年4月1日から平成32年3月31日までの期間において、香取市地域活動支援センターあけぼの園及び第2あけぼの園の指定管理者として「社会福祉法人香取市社会福祉協議会」を指定するものです。

議案第23号 香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者の指定について
 平成27年4月1日から平成32年3月31日までの期間において、香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者として「NPO法人香取の地域福祉を考える会」を指定するものです。

一般質問 市政のことがききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをたずねるものです。

9月定例会では、9月3日(水)・4日(木)にかけて、8人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(10頁に閲覧についての説明があります)

桐谷太陽光発電所に伴う再生土埋め立てに指導強化を

宇井正一 議員

問 桐谷太陽光発電所建設に伴う埋め立て事業は、経産省の許可を得て、平成26年7月下旬より

事業を開始しました。地元住民は、環境汚染や交通安全対策など大変心配をしています。この太陽光発電所

の建設に至る経緯と現状については。

答 本事業については、平成25年12月に千葉

県土砂等の埋立て等に関する指導指針に基づき計画書が提出されましたが、全量再生土を購入し実施することとしたため、特定事業の対象外になるとの理由により取り下げ書が提出されました。現在、県の条例の適用なしで事業が進められようとしています。香取地域振興事務所と連携を図りながら定期的な現地の巡回監視を行い状況把握に努めているところです。

問 再生土へ有害残土が混入されないよう

指導の強化を図るべきでは。市としても、有害残土等による不適切な埋め立てがされないよう、

県と連携を図りながら監視の強化に努めていきます。

問 残土条例の改正で、再生土埋め立てに

対処すべきでは。条例改正による規制

判断が必要となりますので、さらに県と連携を強化していくことで、土壌の汚染、崩落による災害等に対応していきたいと考えています。

問 ごみステーションの在り方について、高齢者・弱者対策についての方針は。また、ごみの資源化・分別収集の進め方は。

答 ごみ出しが困難な高齢者や障害者のごみ収集については、急激な高齢化社会において深刻化するものと考え、その必要性は極めて重要であると思われ。今後、状況に応じた対応をしたいと考えています。ごみの資源化・分別収集の進め方については、資源物の出し易いシステムとすること

で分別が進み、資源化の拡大と可燃ごみの減量化が促進されるものと考えています。**農業用コンテナ処分に関する行政的援助を** 農業用コンテナ、育苗箱、畦シートなどの硬質フィルムがどのような状況に置かれているのか、実態をどのように把握されているのか。

答 農業用コンテナ、育苗箱等については、硬質プラスチック類の扱いとなり、産業廃棄物として農家の負担で処理をしていただいています。

問 香取市廃プラスチック対策協議会の目的はどのようなものであるのか。

答 香取市廃プラスチック対策協議会については、東金市にある千葉園芸プラスチック加工株式会社再生処理工場に、園芸用プラスチック類を搬入するための事業を行っています。また、県と市の補助金、生産者の負担金を取りまとめ、再生工場へ処理料金として支払う経理業務も行って

います。事務局はかとり農業協同組合にあります。回収作業に際しては、市職員も協力しています。農業用コンテナ等の硬質プラスチック類は、同工場では処理できないため、現在の協議会では回収できない状況となっています。

問 児童・生徒・職員に負担がかかる小中一貫校の導入は慎重に

山田地区小学校の統合問題の現状はどうか。市当局として、山田地区にお

答 山田地区の小学校の統廃合については、山田地区の5つの小学校の各学区の代表者で構成される山田地区小学校統合代表者会議を設置し、統合小学校の設置に向けて検討協議を開始しました。第1回の会議においては、統合校の位置について、山田中学校の敷地内に新築する案、八都小学校を活用する案、府馬小学校を活用する案に絞って、今後、具体的に検討を進めることになりました。

第2回の会議では、3案のそれぞれの場合での統合校の設置における環境面・設置に要する期間等、メリット・デメリット等を総合的に比較検討し、より実現性の高い統合校の位置選定を進めることとしています。小中一貫校については、山田地区の一部地域からの要望はあるものの、全国的には公立校での事例は少ないことから、先進事例を慎重に見極め検討していきたいと考えています。

問 香取市における人口減少対策について

最近、ある民間研究機関が発表したリポートによると、人口減少により全国1741自治体のうち、実に51.5%にあたる

896の自治体が消滅の恐れがあるというものです。このように人口減少問題は全国的に大きな社会問題となっており、香取市の現状はどうか。

答 住民基本台帳人口では、合併時の平成18年4月が8万8643人で、平成26年4月は8万9093人です。8年間で7734人、8.7%の減少となっており、年平均では966人の減少となっています。

問 人口減少に伴う影響の対応は。市への影響及び今後の対応は。

人口減少に伴う影響については、地域経済や地域の活力の低下、地方交付税・市民税の減少、それに伴う行政サービスの低下と住民負担の増加、地域コミュニティの継続が困難となる地域が発生する

ことが懸念されます。また、児童・生徒数の減少により適正な学校規模の維持が困難となったり、空き家等の増加による環境面での悪化が加速することも懸念されます。今後の対応については、平成25年4月からスタートした後期基本計画に基づき、総合的な観点からにぎわい創造プロジェクト及びびげんき創造プロジェクトとして、企業誘致を初めとする産業振興策による雇用の創出や婚活事業の実施、子育て支援等の一層の拡充を進め定住人口の増加を図っています。

また、平成26年度は、市内の中堅若手職員で構成される人口減少対策庁内検討チームを6月から再開し、



桐谷太陽光発電所建設に伴う埋め立て事業場(桐谷)



整備中の主要地方道成田小見川鹿島港線竜谷バイパス(虫幡)

香取市における人口減少対策について

高木 寛 議員

問 最近、ある民間研究機関が発表したリポートによると、人口減少により全国1741自治体のうち、実に51.5%にあたる

896の自治体が消滅の恐れがあるというものです。このように人口減少問題は全国的に大きな社会問題となっており、香取市の現

現在、検討を進めておりま
す。10月を目途に人口減少
対策の提言書を取りまとめ
る予定となっております。今
後、その提言書や先進事例等
を参考に新たな施策や事業
を具現化していきたいと考
えています。

国保小見川総合病院建設 検討委員会について

問 小見川総合病院の建
て替は、小見川地
域の市民の皆様方の願いで
あり、一刻も早い建設が求
められます。最近、この検
討委員会が設置されたこと
ですが、その概要と市民
の選任についてはどうか。

答 病院の老朽化・医師
不足等の状況を踏ま
え、新たな病院の役割・運
営等について検討をする小
見川総合病院建て替え整備
検討委員会を設置し、地域
にとつてよりよい病院の将
来像を基本構想、基本計画
案として年度内を目途に答
申していただくこととなり
ます。検討委員会の委員は、
設置要綱に基づき16名で構
成されており、委員の構成
のうち市民の参加枠を設け、
ホームページや香取市と東
庄町の広報で市民代表2名
を公募しました。選考方法
については、小見川総合病
院の将来像を800字以内
にまとめて提出いただき、
選考委員会により選出をし
ました。4名の応募者があ
り、佐原地区から男性1名、
小見川地区から女性1名を
選出し委嘱しました。また、
地区に偏りがなく、山

田地区から女性1名、東庄
町から男性1名を組合長が
必要と認める者として委嘱
しました。

市民の皆さんからの 意見の聴取方法は、 検討委員会の委員と なっている市民代表 4名から意見をいただくほ か、住民アンケートを7月 22日から8月8日までの間 に実施しました。この結果 については、検討委員会で 報告されることとなって います。また、パブリック コメントにおいても意見を聴 取る予定です。

検討委員会の今後の 開催予定及び市民に 対する周知の方法は、

答 検討委員会の今後の
スケジュールについ
ては、第2回目が9月9日
に開催予定であり、住民ア
ンケート調査の集計結果の
報告、基本構想における新
病院に求められる医療機能
について、診療科目、病床
規模、運営形態について協
議される予定です。第3回
目は10月22日に開催予定で、
11月開会予定の組合議会へ
の中間報告案について、基
本構想における新病院の建
設地について、概算事業費、
整備スケジュールについて
協議される予定です。第4
回は12月2日に開催予定
で、基本計画の協議に入り、
新病院の施設整備、医療機
器等、事業収支計画につい
て協議予定です。第5回目
は1月8日に開催予定で、

今年度の協議における基本
構想、基本計画の素案をま
とめます。2月にパブリッ
クコメントを実施後、意見
整理をし、基本構想・基本
計画案が組合長に答申され
る予定となっております。市
民に対する周知については、
検討委員会の会議は原則公
開となっておりますので、会
議日程、会議資料、議事録
の概要版等をホームページ
に掲載し周知を図ってい
ます。

香取市における企業誘致 について

近年、香取市に数多 くの企業が進出して いるが、その状況と雇用人 数や工業生産出荷額は、

答 平成25年度、事業者
の指定を受けた企業
は、大栄フーズ株式会社、
株式会社大東製作所、株式
会社新昭和、小野莫大小工
業株式会社、キンキサイ
ン株式会社5社です。雇用
予定人数については、大栄
フーズ株式会社が90名、株
式会社大東製作所が45名、
株式会社新昭和が100名、
小野莫大小工業有限会社が
7名、キンキサイン株式会
社が60名で、合計302名
の予定となります。設備投
資額については、大栄フー
ズ株式会社が約9億400
0万円、株式会社大東製作
所が約7億円、株式会社新
昭和が約8億5000万円、
小野莫大小工業有限会社が
約1億円、キンキサイン株
式会社が約40億円となりま
す。

小見川産業用地(旧 ソニー小見川跡地) の状況は、

小見川産業用地への 企業誘致の状況につ いては、平成24年度に実施 した公募により大栄フーズ 株式会社並びに株式会社大 東製作所が事業予定者とし て決定し、工場建設等の準 備を行っています。大栄フー ズ株式会社については、建 設工事が終了し操業開始の 準備をしており、株式会社 大東製作所については、工 場建設が始まり平成26年度 中に完成予定です。

主要地方道成田小見 川鹿島港線の中心で ある竜谷バイパスの今後の 整備予定は、

これまで国・県に 対して要望活動を行 ってきましたが、平成25年 度までに、竜谷高架橋を含 む延長約1.4kmの道路改 良工事を完了したと伺って います。また、平成26年度 の整備予定として、交差点 改良等の残りの工事等を行 い、年度内の供用開始を見 込んでいるとも伺っていま す。

答 市有地の活用につ
いての基本方針は、
公共施設については、
行政財産と普通財産
に分類されそれぞれ管理し
ていますが、行財政改革大
綱の基本方針の一つである
持続可能な財政基盤の確立
の中で、自主財源の確保の
一つ的手段として、売却を
含めた保有財産の有効活用
が明記されています。
また、集中改革プランに
おいても、未利用地の有効
活用が個別項目として位置
付けられていることから、
普通財産は長期にわたって
活用がなされておりません
ので、具体的な活用計画の
ない行政財産についても売
却処分や貸し付け、他の施
設などへの転用等、有効活
用の推進を図ります。なお、
これらの推進については、
香取市公有財産等活用検討
委員会を活用するとともに
(仮称)未利用地活用基本
方針を策定し、計画的に進
めていきます。

市民の財産―市有地の使い方 に 関する 市民の財産―市有地の使い方 に 関する 市民の財産―市有地の使い方 に 関する

河野節子 議員

市有地の活用につ いての基本方針は、 公共施設については、 行政財産と普通財産 に分類されそれぞれ管理し ていますが、行財政改革大 綱の基本方針の一つである 持続可能な財政基盤の確立 の中で、自主財源の確保の 一つ的手段として、売却を 含めた保有財産の有効活用 が明記されています。 また、集中改革プランに おいても、未利用地の有効 活用が個別項目として位置 付けられていることから、 普通財産は長期にわたって 活用がなされておりません ので、具体的な活用計画の ない行政財産についても売 却処分や貸し付け、他の施 設などへの転用等、有効活 用の推進を図ります。なお、 これらの推進については、 香取市公有財産等活用検討 委員会を活用するとともに (仮称)未利用地活用基本 方針を策定し、計画的に進 めていきます。

平成25年8月の全員 協議会で示された旧 小見川西中学校跡地の特養ホ ム敷地と異なり、県道に沿っ て出入口を塞ぐ形に変更し て公募した経緯と議会で説 明をしなかった理由は、

特別養護老人ホーム 建設予定地について

答 旧小見川西中学校跡地
は、旧小見川西中学校跡地

定しました。電話での問い
合わせは数件ありましたが、
結果として応募があったの
は1法人でした。今回、市
有地を無償貸与するという
ことで、既存の社会福祉法
人である特別養護老人ホーム
で特別養護老人ホームの
運営実績のある法人という
条件を付したことも応募が
少なかった要因の一つにな
っていると思われま

誘致のため今までに かかった費用と今後 予定される市からの補助金 は、

答 市有地の無償貸与に
よる特別養護老人ホ
ムの建設、運営法人の選定
に係るこれまでの経費につ
いては、旧小見川西中学校
跡地の地籍測量業務委託料

30年の無償貸与との ことだが、無償貸与 できる条件は、

に575万4000円、平
石交差点付近の排水のため
の集水ますの設置に約13
5万円、文化財調査費とし
て約1486万7000円、
合計で2197万1000
円となります。今後の経費
については、香取市老人福
祉施設整備補助金として、
定員1人当たり50万円を限
度として補助する規定がご
ざいますので、特別養護老
人ホームの定員100人と
シヨートステイの定員10人
合わせて110人分の補助
金5500万円を施設完成
時に交付することになりま
す。



特別養護老人ホームの建設予定地となっている旧小見川西中学校跡地 (内野)

答 無償貸与の要件については、他の地方公共団体その他公共団体または公共的団体において公用もしくは公共用または公益の事業に供するとき、地震・火災・水害等の災害により普通財産の貸し付けを受けたものが、当該財産を使用の目的に供しがいと認めるときとされています。

なお、これらの要件に該当しない物件は無償貸し付けする場合は議会の議決を得なければなりません。主なものとして、公共団体以外のものが公共事業または公益事業を実施する場合があります。

問 特養ホームに入所できる市民枠は取れているか。

答 広域型ということで、地元の枠は決まっていますが、地元を優先に入所させてくれるようお願いいたします。

問 公共施設の再配置計画は専従職員を付けて早急に実施したい。

答 次世代に負担を負わせないためにも、公共施設、特に建物についてはその機能を残し、住民の理解を求めながら、統合、更新、再配置をしていかなければならない。実態調査と今後の計画予定は、

答 各公共施設については、それぞれ管理する部署が日常の管理運営業務を通して、耐震補強の必要性や施設設備等の現況並びに施設の利用状況等を把握

握っています。今後の取り組みについては、市が所有している公共施設について、施設の概要、利用状況等の実態をまとめた公共施設台帳を作成し、各部署間で情報共有を図りたいと考えています。既存の計画との整合性や市の財政推計及び人口推計等を加味し、費用対効果を考慮の上、市民や市議会議員の皆様と情報共有を図りながら計画を策定していきたいと考えています。

問 高齢化社会においてステーション収集から戸別収集に変える自治体も増えてきている時代になぜルート収集をステーションに変えるのか。

答 処理施設の統合により小見川・山田地区のごみ搬入先が遠くなることから収集時間内に終わらなくなるが予想されることに加え、可燃ごみと資源物の排出の利便性に差があり、紙類などの資源物があり、可燃ごみとして排出される傾向にあることから、資源物が出しやすいシステムとすることで分別が進み、資源化の拡大と可燃ごみの減量化が推進されると思われるので、市内全域ステーション方式に統一することとしたものです。

問 焼却ごみを減らし、焼却炉の耐用年数を延ばし、最終処分場の延命のために資源化率の向上が求められるが、資源化対策は。

答 廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を総合的に推進するため、現在、分別の徹底を図るとともに市民の搬入の利便性を考慮し、資源物を無料で搬入できるようにするためのストックヤードを整備することや、枝木、その他の資源となり得るものを焼却せずに極力資源化するよう検討しています。

問 ごみ袋の値下げを心待ちにしている市民の声に込めて公約実現を早めたい。

答 値下げに当たっては、安定した処理体制とごみ処理経費の低減を図ることが不可欠となることから、まずは処理施設の統合、更に資源化を推進し、可燃ごみの減量化を図るための施設について、循環型社会形成推進地域計画を策定する中で検討し、整備を図ることとしております。

問 これと並行して、市民の皆様には分別を徹底していただき、資源化の拡大など、負担軽減、値下げに向けて取組を推進してまいりたいと考えています。

ごみ袋の値下げ 市長公約のすみやかな実施を

坂本洋子 議員

問 千葉県保健医療計画の改定時に地域医療を行う中核病院としての位置付けを明確にすることが必要だが、県との協議状況は。

答 平成26年度第1回目の協議は8月21日に行い、小見川総合病院の建て替え整備に着手したことを報告し、県立佐原病院と小見川総合病院の医療連携に対する香取市の考え方を改めて説明し、地域医療充実のための県立佐原病院の存続について、平成28年の県の保健医療計画の改定に合わせて県立佐原病院に関する該当文言を見直しされるよう要請をいたしました。

問 医療法の改正で都道府県が地域医療構想を保健医療計画に位置付けることだが、改定作業の進捗状況は。

答 地域医療構想の策定に当たっては国のガイドラインが示されることになっております。これに待って具体的な改定作業に入りたいと考えています。

問 要望の強い公園の遊具や室内での遊び場の整備を新制度で実現すべ

答 小見川総合病院の建て替え整備を優先することになり、これとの重複を避けるため、地域医療のあり方調査報告書は現在予算執行を見合わせています。

問 子育て支援策にニーズ調査の結果をどう反映するか

答 子育て支援策策定のためのニーズ調査では小児医療体制の充実が1位である。病児・病後児保育、夜間救急をどう構築していくか。

問 現在、県立病院の常勤医師は1名で、他に開業医は佐原地区が5、小見川地区が2、山田地区が1という状況であり、なかなかかかりつけ医ができないため、これらを踏まえて、常勤の医師を招聘できるように努めていきます。

問 「学校教育は全ては子供たちのために」を基本にすべきだが、今の学校教育におけるゆとり教育に疑問を感じる。二学期制は主にゆとり教育における授業時間を確保するために、始業式や終業式の回数減により取り入れられたが、省かれた「式」にも大事な教育的価値があるのではないか。そして今、三学期制に戻す学校が出てきているが、実態は。また、二学期制の成果は。

答 子どもの遊び場については関係課とも連携して対応していきます。また、児童館に匹敵するプログラムを有する市内4カ所の子育て支援センターが十分活用されるようPRしていきたいと考えています。

問 子どもの遊び場について関係課とも連携して対応していきます。

問 現在のところ開発行の許可申請が出ていません。申請があつた際は市の関係各課等の意見を踏まえ、法律に準拠した指導を行っていきます。

問 福田地先の上下水道未整備地域への野菜カット工場進出に対する香取市の対応は。

答 現在のところ開発行の許可申請が出ていません。申請があつた際は市の関係各課等の意見を踏まえ、法律に準拠した指導を行っていきます。

問 学校の判断に任せており、市内で統一はしていません。保護者の希望により実施している学校

義務教育における学力は 社会力向上のために

小林康良 議員

問 二学期制の成果と家庭訪問の実施状況は

答 二学期制の成果は、授業時間の増加により児童・生徒に時間をかけて丁寧な指導できるようになったこと、夏休み前や冬休み前に児童・生徒と向き合える時間が増加していることが挙げられます。

問 家庭訪問について、かつては先生が来る日はどきどき感があり楽しみであったように記憶している。親となった今、「先生が来る」と聞かされると、いい緊張感を覚え、「先生、どんなことを言っていた」と子供に尋ねられて、心地よい時間を得ることができているが、今は学校によって取り組み方が違うと聞くが、実態は。

答 学校の判断に任せており、市内で統一はしていません。保護者の希望により実施している学校



県立佐原病院 (佐原イ)



職場体験学習を行う香取中学校生徒（ミナト動物病院）

問 教育において、社会力向上の取り組みは重要だと考えるが、現状は？

答 社会力向上は、学力の向上と同様に次世代を担う人間を育成する上で必要なものと考えています。学校では、教科学習以外に道徳や学級活動、総合的な学習の時間を使い社会力を養う取り組みを行っており、また、児童・生徒が集団で活動する宿泊学習等も含めた学校行事により社会力の育成を図っています。

問 香取市教育委員会として小中一貫校についての考え方は？

答 メリット、デメリットをどのよう捉えているか。今後の方向性は、メリットは、学習面では9力年を見据えた一貫した方針のもとでの学力向上、生徒指導面では小学校から中学校へ進学する際のストレス軽減等が期待できることや、幅広い年齢層集団での活動を通して豊かな人間性や社会性を培うことができることなどが考えられます。デメリットは、児童・生徒の視点で見ると、小学校と中学校の節目の意識が薄れ、新しいス

タートが切りにくくなる可能性があることや、小規模校における人間関係の固定化、また一貫校と通常の小・中学校の転出入がある場合、システムの違いに戸惑う恐れがあります。

今後の方向性ですが、小学校と中学校が連携する必

「公共施設等総合管理計画」で効果的なインフラの管理を

田代一男 議員

問 香取市における公共施設等のインフラの老朽化対策はどうなっているか伺います。

答 公共施設等に対する需要、利用形態などが変化しているため、地域の実情や住民ニーズを的確に把握し、合併特例終了も見据えた歳出の適正化等、市の将来的な財政状況や組織体制も見極めながら、長期的な視点で公共施設の更新、統廃合、そして長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減、平準化、公共施設等の配置の適正化を図る必要があると考えます。

問 国が各自治体に求めている「公共施設等総合管理計画」策定の取り組みについて伺います。

答 市民の方々と議会と情報を共有し、ご意見等を伺いながら、公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設全体の最適化を図ります。

問 防災・減災で市民の財産・生命を守れ

平成25年10月の台風26号の影響により、香取市内でも多くの浸水被害が発生しました。同規模の台風に襲われた場合、同じ被害を受ける可能性があります。対策はどのようになっているか伺います。

答 河川や下水道のハ一的基準に従い整備を進めていますが、時間と財源が必要で、ある程度の限界があります。このため、ソフト面の対策として、初動体制の迅速化、避難勧告等の判断基準の明確化のほか、事前の備えとして、防災に対する意識向上の啓発活動、避難訓練の実施など、減災につながる対策の強化に努めます。

2013年

2007年～2012年

普通教室と同じ広さで、コーナーが指導場所です。気が散らないよう廊下側にカーテンを取り付けています。

ことばの教室（東大戸小学校）

問 さらなる「特別支援教育」の充実を求める

香取市における特別支援教育への取り組みと現状を伺います。

答 学校における防災教育は、災害に適切に対応する能力の基礎を培うことを目指し、児童、生徒の発達の段階を考慮して関連する教科、総合的な学習の時間、特別活動など、教育活動全体を通じて展開しています。その中心的なものが、避難訓練で、平成26年度も全ての小中学校で、年間2回から6回実施しています。

問 香取市は特別支援教育体制推進事業として、早期から特別教育支援を目指して取り組んでいます。また、管理職と通常学級の担任を対象とした研修会を開催し、多くの教職員が実践できることを目指しています。

答 通級による指導の現状を伺います。

問 通級による指導は、通常学級に在籍しながら、一定の時間、特別な支援を受けられる制度です。言語障害の通級指導教室が小学校に3教室開設で、67名が通級、LD（学習障害）、ADHD（注意欠如・多動性障害）の通級指導教室が小学校に2教室開設で18名通級、中学校に1教室開設で5名通級しています。

中長期に渡る財政計画と支出ルールが今後は必要

小野勝正 議員

問 「ことばの教室」の増設はできないのか。

答 「ことばの教室」の現状を伺います。

問 言語障害学級は、佐原小学校に1学級4名が在籍、別に16名の児童が通級により指導を受けています。また、言語障害の通級指導教室は、小見川中央小学校2教室外2つの教室で55名の児童が指導を受けています。

答 言語障害の指導には、専門的な知識と技能が必要となるため、通級指導教室が2教室ある小見川中央小学校等で後継者の育成を図っていく方向等を検討していきます。

問 消費税3%引き上げ分はすべて社会保障

答 平成25年度策定した平成33年度までの中長期財政計画では、扶助費や公債費等、経常的経費の増加が見込まれ、平成30年からは、財政調整基金の取り崩しが見込まれ、平成33年度以降は、毎年10億円以上の取り崩しを余儀なくされると捉えています。このため、行財政改革の一層の推進、歳出の抑制に努め、市税等の徴収率の向上、企業誘致及び産業振興などの歳入の増加につながる施策の促進を図っていきます。

問 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の実施状況は住民に浸透しているのか。

答 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金は、平成26年8月15日現在、対象者1万5260名に対して、1万1093名の方が申請済みで、申請率は66.1%です。未申請者の方には、平成26年9



流れ川 (大倉)

中旬に3度目の通知をします。また、広報かとりやホームページへも再度掲載をしたいと思います。なお、子育て世帯臨時特例給付金は、平成26年7月31日現在、対象世帯5456世帯に対して、5141世帯が申請済みで、申請率は、94・2%です。

問 これまでの香取市におけるふるさと納税額はどのくらいあるのか。

答 寄付件数は、平成23年度が26件で472万円、平成24年度が17件で372万5千円、平成25年度が18件で490万円です。

問 ふるさと納税でもっと香取の魅力をアピールするべきでは

答 ふるさと納税という強い発信力で全国に香取を知ってもらうことで、観光振興・地域振興につながると思うが市長の見解は、社会情勢を注視しながら、地域経済の活性化という観点からもふる

問 香取市にふるさと納税を申し込んでもらうには、香取ブランドをもっとPRして魅力的にする必要があるのではないかと

答 いろいろなイベントや、ホームページ等を使って、香取ブランドを発信していますが、今後、

より一層充実するように努めていきます。

問 畜産公害(水質汚濁・悪臭)はキッチリ処理されているか

答 夏場における悪臭は、時には家の中にもつて抜けない場合がある。対策はキッチリされているのか。

答 畜産は、香取市の農業において、水稲に次ぐ位置にあり、重要な産業の1つです。畜産公害と呼ばれるような事案が発生しないように、関係機関と

協力し、指導に努めていきます。

問 ゲリラ豪雨に対応できるための大倉の「流れ川」の対策はどのようになっているのか。

答 河川の流れを阻害している箇所は、何カ所もあり、特に影響があるのは、元農業用で使用されていた堰だと考えています。この堰を撤去して、通常の川幅に復元し、その後の状況を見ながら、全体的な対策を検討していきます。

忠敬翁没後200年祭を前にして

伊能敏雄 議員

問 大正期の没後100年事業で、銅像建立した当時のやり残した想いを繋げると、佐原諏訪公園の顕彰公園として再整備や全国へ呼びかけ「忠敬サミット」などが挙げられます。市は、記念事業の進め方をどのように考えているのか。

答 平成30年の没後200年は、節目の年です。香取市としても記念すべき機会と捉え、地元の誇り、忠敬翁の偉業をたたえ、市民一人ひとりが改めて郷土の偉人を尊ぶ記念事業の開催を考えています。今後、実行委員会を立ち上げ、早期に市民の方々と協働で事業計画を立案し、東京オリピックの開催も見据え、全世界に伊能忠敬翁の功績

と香取市をPRできるように取り組んでいきます。

問 大河ドラマ推進で、市の関わりが低下していると思われるが。

答 今後も、伊能忠敬翁大河ドラマ推進協議会と市の役割分担を協議しながら、推進運動がより効果的に行われるように、できる限りの協力をしていきます。

問 忠敬関連の国宝をユネスコ世界記憶遺産に登録申請すべき。

答 伊能忠敬翁の国宝等資料については、世界記憶遺産として登録されることになれば、可能性や

没後200年関連事業に寄付納税の限定



10月11日に再公開となった伊能忠敬旧宅

手続等について勉強させていただきます。

問 ふるさと納税の現在の取り組み状況は。

答 平成25年度は市内からの寄付が7件341万円、市外からの寄付が11件149万円、総数では18件、490万円です。寄付者への特典は、市外の方へは、市内観光施設の無料招待券5枚と広報かとり1年間送付です。5万円以上のご寄付をいただいた市外の方には、それらに加えて、香取市の特産品の米、野菜等から1種類を選んでいただきお送りしています。

問 項目はできないか。

答 期間限定の寄付は、ふるさと納税という観点からすると若干そぐわないと思われる。伊能忠敬翁全体に対する寄付行為はあると思いますが、税制改正と合わせて検討していきます。

問 地元の偉人から学ぶ道徳教育を

答 道徳教育の現状は、学習指導要領に道徳の時間は週1時間、年間35時間行うようになっています。市内の全ての小中学校で年間35時間以上の授業を行っています。

問 地元の偉人で地域目線の副読本はできないか。

答 郷土の偉人である伊能忠敬翁の伝記等の作成、活用も含めて、今後検討していきます。

問 インフラ整備は避けて通れない問題

答 耐用年数40年に該当する水道管延長距離と改修に必要な予算は、管路延長距離は、現在、地域を特定した集計はできていませんが、

全体で約132kmです。更新に必要な事業費は、約79億円です。

問 十六島地域の水道管の中は、連合給水管のため水圧不足などの問題がある。布設当時の状況を鑑み、対応できないか。

答 道路への水道管の布設替えや老朽管の更新については、水圧不足などの問題が多くある箇所から順番に、全ての箇所を解消していく方向で考えています。

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法第100条第14項から第16項までの規定に基づいて条例の定めるところにより、香取市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派及び議員に対して交付されるものです。

1 交付方法及び金額

交付金額：会派については、所属議員数に月額10,000円をかけた額

議員については、1人当たり月額10,000円

交付時期：4月に1年分(年度末において残額があった場合は、返還します。収支報告書は領収書等を添えて提出します。)

2 政務活動費を充てることができる経費

政務活動費を充てることができる経費は、香取市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項別表に定めています。別表(第6条第2項)

項目	内容	項目	内容
調査研究費	会派又は議員が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	要請・陳情活動費	会派又は議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
研修費	会派又は議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費	会議費	会派又は議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派又は議員としての参加に要する経費
広報費	会派又は議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費	資料作成費	会派又は議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
広聴費	会派又は議員が行う住民からの市政及び会派又は議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費	資料購入費	会派又は議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
		人件費	会派又は議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
		事務所費	会派又は議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

決算審査特別委員会から

8月28日(木)の本会議で設置された決算審査特別委員会に平成25年度の決算認定13件が付託され、9月8日(月)から10日(水)までの3日間に審査が行われました。ここでは、主な審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

総務企画部関連の事項

問 本市一般会計の歳入において相当部分を占める地方交付税の将来見通しについては。

答 香取市においては合併算定措置期間が平成27年度までとなっており、その後5年間で段階的に削減されます。なお、合併算定替と一本算定の差額は、支所経費が一本算定に算入されることになったこと

問 不納欠損額や収入未済額の解消・改善について、市民負担の公平性

答 税の申告状況の確認と併せ、本人からより詳細な収入等生活実態を直接聴取し、更には必要に応じ家庭訪問による現場確認を行っています。

問 防災行政無線統合事業に、現在の自主防災組織数は。

答 現在101組織で、世帯数からみた加入率は約36・3%です。

問 成人者のうち農業後継者はいるか。

答 農家男性が2人います。

問 現在、全国的に見ても民生委員の担い手がいないうちが、今後、市として協力員や支援員などのボランティアの活用を考えているのか。

答 今後、県が各市町村へ協力員制度の創設に関して調査を行うということですが、その調査結果を踏まえ、また、千葉市で実施している運営状況の情報等を得て検討をしていきたいと考えています。

問 保有実態からして必要な土地は処分すべきでないか。

答 未利用地については今後適切に対応していきます。

問 子育て創生事業(かとり縁結び大作戦)に、登録者数は。

答 男性は296人、うち市内在住者238人、市外在住者58人、女性は270人、うち市内在住者96人、市外在住者174人です。

問 平成25年5月に本庁において実施された総合窓口整備に、市民からのこれに対する評価はどうか。

答 各種証明書等の発行や出生・死亡に関することが集約化されたことにより、ワンストップサービスが実現したことで、市民からは利用しやすくなったとの良い評価を得ています。

問 放課後児童クラブについて、学校の空き教室を利用したものはいくつかあるのか。また、未開設地域等に整備することであるが、あとのくらしい残っているのか。

答 学校の空き教室を利用した放課後児童クラブは、佐原児童クラブ、佐原第2児童クラブ、小見川中央第2児童クラブなど6カ所です。未開設地域は、佐原地区では香取・香西・津宮・大倉、小見川地区では小見川南・小見川東です。山田・栗源地区は全域でそれぞれ一カ所ずつです。

市民福祉部関連の事項

問 人間ドックの助成事業について、前年度と比較すると大幅に利用者が増えているが、何か効果

答 広報かとりやホームページ等で助成制度的な方策を講じられたこと

問 乗合タクシー運行事業に、利用者数の推移は減少傾向にあるが、この対応策は。

答 高齢化の進展によりバス路線の役割は大きいと考えますが、一方で補助金支出も多額なことから、今後利用者の意見も聴いて対応してまいります。

問 香取市土地開発基金に、土地の筆数、地目、登記者名については。

答 雑種地14筆、田13筆の計27筆で、香取市名義が11筆、市による仮登記が16筆です。

問 『広報かとり』の発行に関する業務に、個別配布実施において、設置場所まで取りに行くことのできる事情とはどのようなものか。

答 新聞未購読の高齢者世帯等から個別配布の申し出があった場合、そ

問 乗合タクシー運行事業に、利用者一人あたりの運行経費は。

答 2518円です。また、去る6月開催の香取市地域公共交通協議会において、利用者へのアンケート結果の課題整理と乗合タクシーの有用性を更に検討するため、試験運行を10月から1年間延長することが決定されたところです。

問 香取市まちづくり条例の推進に関する業務に、事業開始後3年が経過したが、現時点での問題点は。

答 住民自治協議会の自主的運営や継続性という観点において、役員育成や人材発掘が課題となっています。

委員長	柳田 俊秀
副委員長	奥村 雅昭
委員	小林 康良
委員	田代 一男
委員	高木 典六
委員	宇野 功
委員	伊能 敏雄
委員	平松大建明



戸別受信機

問 佐原地区 1253台、世帯数からみた設置率は7・6%、小見川地区4297台、48・4%、山田地区985台、30・5%、栗源地区631台、39・3%です。

問 乗合タクシー運行事業に、利用者一人あたりの運行経費は。

答 2518円です。また、去る6月開催の香取市地域公共交通協議会において、利用者へのアンケート結果の課題整理と乗合タクシーの有用性を更に検討するため、試験運行を10月から1年間延長することが決定されたところです。



小見川中央第2児童クラブ (小見川中央小学校内)

問 保育の一時預かり事業について、瑞穂保育所・小見川中央保育所、

答 瑞穂保育所は、去る6月開催の香取市地域公共交通協議会において、利用者へのアンケート結果の課題整理と乗合タクシーの有用性を更に検討するため、試験運行を10月から1年間延長することが決定されたところです。



昨年12月に開催された香取小江戸マラソンの様子

小見川東保育所の利用者数が増加した原因は。

正確に原因を究明しただけではありませんが、全体として増加傾向にあります。制度の周知が

教育部関連の事項

問 学校給食費の滞納分についての督促と集金の方法は。

答 現在、督促状は年に二度、滞納のある家庭に郵送しています。口座振替が原則となっていますので、振替不能の方にはその都度、振替不能通知に納付書を同封し、給食費納入依頼書を添えて送付しています。また、学校給食センターの統合後は、各家庭への訪問での徴収はできていない状況ですが、電話での催告は随時行っています。

問 香取小江戸マラソンについて、平成25年の申込者数と参加者数は。

答 平成25年に実施した第5回大会の申込者数は4269人、参加者数は3816人です。コース設定の変更については、実行委員会において2kmのコース変更案があり、これについては交通規制等の関係がありますので、香取警察署と協議を開始したところです。また、距離を延ばし

てほしいとの意見もありませんが、当分の間、現在のままで開催していこうという事で考えています。

問 伊能忠敬記念館の入館者数は、震災後の落ち込みから徐々に増えてきているが、今後、増加すると見ているのか。それと

館者数は、震災後の落ち込みから徐々に増えてきているが、今後、増加すると見ているのか。それと

経済環境部関連の事項

問 主用食米の需給調整の確実な推進のため、奨励金等の取り組みをしているが、平成26年度の米価の低迷の原因と対策は。

答 米価の低迷は、平成24年産米及び平成25年産米の在庫のダブつきが原因と考えられます。対策は、農地の集積で規模を拡大し、生産コストを下げることで、小さな経営体の場合、集団化・法人化を進めることが必要と考えます。これらに加えて、WCS(ホルル・クロップ・サイレイジ)用稲、飼料用米の作付けなどによる交付金の活用での経営の安定化とともに生産調整を進めることが必要と考えます。

問 水郷佐原水生植物園の管理運営について、年間入場者数は、東日本大震災前の水準に戻ってきま

した。あやめ祭り期間の入場者数に比べて、はす祭り期間の入場者数は少ないが、費用対効果は。

答 はす祭りは、あやめ祭り期間後の来園者数増加のために実施しています。ポスターはあやめ祭りと一緒にPRするなど、コスト削減にも努めています。その他にも、アマリリス展・ザリガニ釣り等新企画で、年間の来園者数の増加につなげるよう努力しています。

問 旧清見屋跡地に建設予定の(仮称)情報・交流センター整備事業について、今後のタイムスケジュールは。また、設計の変更はあるのか。

答 旧清見屋建物本体の解体工事については、平成26年内に終了予定です。基本設計については、市民の方の声を聴いて計画します。

問 旧清見屋跡地に建設予定の(仮称)情報・交流センター整備事業について、展示施設については、反対であるという意見が多く、再度、市民の方に確認するため、平成26年10月頃アンケート調査を市内全域で実施予定です。アンケートの結果を踏まえ再度検討しますので、建設は、2年程度遅れる可能性もあります。

問 小野川左岸電線共同溝整備の進捗状況と今後の予定は。

答 平成25年度で本工事が完成し、通信線の各家庭への引き込み工事は一部を残して完了しましたが、通信線の残り電力線の引き込み工事について

問 市道I-57号線及びI-10号線道路改良事業の進捗状況と今後の予定は。

答 市道I-57号線は、平成25年度までに道路改良と用地買収等を実施しました。平成25年度末までの進捗率は、事業費ベースで、60.9%です。今後も、平成29年度完成に向けて、道路改良、用地買収等進めていきます。市道I-10号線は、平成25年度までに排水整備工事と用地買収補償等を実施しました。平成25年度末の進捗率は、事業費ベースで、20.2%です。今後も、平成30年度の完了に向けて道路改良、用地買収等進めていきます。

問 防犯灯の設置及び維持管理について、平成25年度設置の50灯は何色の防犯灯が設置されたのか。また、青色の防犯灯は暗い、怖い等不評だが、今後更新していく防犯灯は、白色灯にできないか。

答 平成25年度に交換した防犯灯は、蛍光管

も現状で推移すると見ているのか。

答 伊能忠敬記念館においては、企画展・特別展等を開催しており、入館者の増を図っています。今後も、平成22年度以前の入館者数に向けて努力していきます。

問 水郷佐原水生植物園の管理運営について、年間入場者数は、東日本大震災前の水準に戻ってきま

した。あやめ祭り期間の入場者数に比べて、はす祭り期間の入場者数は少ないが、費用対効果は。

答 はす祭りは、あやめ祭り期間後の来園者数増加のために実施しています。ポスターはあやめ祭りと一緒にPRするなど、コスト削減にも努めています。その他にも、アマリリス展・ザリガニ釣り等新企画で、年間の来園者数の増加につなげるよう努力しています。

問 旧清見屋跡地に建設予定の(仮称)情報・交流センター整備事業について、展示施設については、反対であるという意見が多く、再度、市民の方に確認するため、平成26年10月頃アンケート調査を市内全域で実施予定です。アンケートの結果を踏まえ再度検討しますので、建設は、2年程度遅れる可能性もあります。

問 小野川左岸電線共同溝整備の進捗状況と今後の予定は。

答 平成25年度で本工事が完成し、通信線の各家庭への引き込み工事は一部を残して完了しましたが、通信線の残り電力線の引き込み工事について

問 市道I-57号線及びI-10号線道路改良事業の進捗状況と今後の予定は。

答 市道I-57号線は、平成25年度までに道路改良と用地買収等を実施しました。平成25年度末までの進捗率は、事業費ベースで、60.9%です。今後も、平成29年度完成に向けて、道路改良、用地買収等進めていきます。市道I-10号線は、平成25年度までに排水整備工事と用地買収補償等を実施しました。平成25年度末の進捗率は、事業費ベースで、20.2%です。今後も、平成30年度の完了に向けて道路改良、用地買収等進めていきます。



水郷佐原水生植物園(扇島)

問 市道I-57号線は、平成25年度までに道路改良と用地買収等を実施しました。平成25年度末までの進捗率は、事業費ベースで、60.9%です。今後も、平成29年度完成に向けて、道路改良、用地買収等進めていきます。市道I-10号線は、平成25年度までに排水整備工事と用地買収補償等を実施しました。平成25年度末の進捗率は、事業費ベースで、20.2%です。今後も、平成30年度の完了に向けて道路改良、用地買収等進めていきます。

問 市道I-57号線及びI-10号線道路改良事業の進捗状況と今後の予定は。

答 市道I-57号線は、平成25年度までに道路改良と用地買収等を実施しました。平成25年度末までの進捗率は、事業費ベースで、60.9%です。今後も、平成29年度完成に向けて、道路改良、用地買収等進めていきます。市道I-10号線は、平成25年度までに排水整備工事と用地買収補償等を実施しました。平成25年度末の進捗率は、事業費ベースで、20.2%です。今後も、平成30年度の完了に向けて道路改良、用地買収等進めていきます。

問 下水道総合地震対策事業及び合流改善事業はどのような事業か。また、佐原市街地の浸水対策は。

答 下水道総合地震対策事業は、平成25年度に策定した下水道施設の躯体等の設備の整備をするための計画策定業務の委託費用です。合流改善事業は、降雨時などに未処理排水が放流されないようにする水質浄化のための事業です。この事業では、ポンプの増設を入船橋ポンプ場と佐原浄化センターで行いました。また、佐原市街地の浸水対策は、現在、下水道合流管で処理している雨水を汚水と分流するための合流改善雨水対策工事を平成26年10月から3カ年の事業で着手します。これにより管渠の流量がかなり緩和され、雨水排水量が軽減されると考えています。



小野川左岸電線共同溝工事(佐原イ)

各常任委員会の審査から

8月28日(木)の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を9月16日(火)・17日(水)に行いました。ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

総務企画常任委員会

問 議案第1号 平成26年度香取市一般会計補正予算(第5号)について、幼保一元化施設整備事業について、新たに整備する施設の建物構造はどのようなものか。

答 大断面の太い柱や梁を含む木造が望ましいと考えています。

問 施設解体工事の具体的内容は。

答 旧香取市小見川文化会館 鉄骨造2階建て 建築面積2359・27㎡、延床面積2829・97㎡の施設解体であり、アスベスト除去、電気・機械設備を含めた建築物の解体、



旧小見川文化会館 (小見川)

な場合には簡易な基盤整備が可能なほか、農地の貸し手には必要要件を満たせば協力の金が支払われるなどの支援制度があります。このような機構を通じた貸借の利点を活かせる場合には、この事業を活用します。

問 公園維持管理費に關し、計上されている修繕料及び施設改修工事費の対象となる公園は。

答 修繕は岩ヶ崎台第1号公園、小見川城山公園、橋ふれあい公園、わんぱく公園、佐原河川敷緑地の遊具等の修繕を行い、施設改修工事は、橋ふれあい公園、西部田公園、鳳翔瑞穂公園、くろべ運動公園で行うものです。

福祉教育常任委員会

問 議案第13号 香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に關する条例の一部を改正する条例の制定について、自立支援員は現在何名いるか。

答 香取市では1名です。

問 議案第14号 香取市職員の給与に關する条例の一部を改正する条例の制定について、遠距離通勤者への手当及び単身赴任手当を新設することだが、県内自治体の状況と香取市における対象者数は。

答 いずれも県内35市のうち6市が設けており、本市における対象者は、遠距離通勤者が2名、単身赴任手当は、岩手山田町への短期派遣職員が該当します。

問 議案第16号 香取市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について、学校施設の使用料は具体的にはどういった団体から取るのか。

答 平成25年度は2333団体に登録されており、団体は具体的なにはどういった団体から取るのか。

経済建設常任委員会

問 議案第2号 平成26年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について、この事業を実施した場合、どのような方法でどれくらい上るのか。

答 現在、特定健診の受診率は39%です。この事業は、平成27年度から始まるデータヘルズ計画に向けて、平成26年度を準備期間として位置づけ実施するものです。内容は、過去3年間の特定健診未受診者に対し受診の勧奨、長期未受診者等に対しては現況及び意向を調査し受診の機会を拡大を図ります。また、受診率の低い世代の健康意識の向上を図る事業と、市内の自然・歴史を活かしたウォーキングマップを作成し、それを活用した事業を実施していきたいと考えております。平成27年度、1%あげることが目標としております。

問 議案第10号 香取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に關する基準を定める条例の制定について、認定こども園と幼保連携型認定こども園の違いについては。

答 幼保連携型認定こども園については、幼稚園の機能と保育所の機能を合わせ持つ新しい施設として開設するものです。認定こども園については、保育所の機能を合わせ持つ幼稚園型、幼稚園の機能を合わせ持つ保育所型、無認可であった保育所・幼稚園が認可を得て子ども園となる地域裁量型があります。

環境常任委員会

問 小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、家庭的保育事業等について、『子ども・子育て支援制度』に従い香取市において運営すると確認されたものが特定地域型保育事業です。

問 議案第17号 香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について、統合後における湖東小学校の跡地活用については。

答 湖東小学校の施設等の活用については、跡地活用検討会議を設置し、地元要望を取りまとめさせていただきます。その要望をもとに活用を検討していきます。



新島小学校と統合する湖東小学校

問 議案第23号 香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者の指定について、指定管理者となるNPO法人 香取の地域福祉を考える会とはどのような法人なのか。

答 県の委託を受けて福祉サート・相談事業などを行っている。中核地域生

環境常任委員会

問 議案第4号 平成26年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について、市の汚水処理普及率は、県平均の85・2%を下回る56・4%ですが、現状と今後の整備予定は。

答 普及率は、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽処理のみがカウントされ、市内の単独浄化槽はカウントされないため、

問 議案第19号 香取市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について、最近、子宮頸がんワクチンの接種により副作用が生じたとのことであるが、調査委員会で検討されているのか。

答 子宮頸がんのワクチンについては、全国的に副作用が生じている状況ですが、国の施策として積極的な勧奨を差し控えるとの取り扱いになっていますが、副作用の事例はありましたが重大なものではありませんでしたので、調査委員会に諮るものではないと



玉造浄水場 (玉造)

問 議案第20号 平成26年度香取市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に關する条例の一部を改正する条例の制定について、通勤費用の想定される対象人数及び職員の負担率は。

答 現在対象者はいません。今後見込まれる県からの派遣職員等を想定しています。負担率は、支給対象期間の通勤に要する高速料金等の額の2分の1相当額で、月額2万円を限度としています。

問 当初は、地域活動支援センターの現状の運営を引き継ぎますが、その後、就労継続支援B型の事業所に移行していただくこととなります。その中で、有資格者を配置していただくことになると思われます。

問 有資格者を配置するののか。

答 当初は、地域活動支援センターの現状の運営を引き継ぎますが、その後、就労継続支援B型の事業所に移行していただくこととなります。その中で、有資格者を配置していただくことになると思われます。

経済建設常任委員会

問 議案第23号 香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者の指定について、指定管理者となるNPO法人 香取の地域福祉を考える会とはどのような法人なのか。

答 県の委託を受けて福祉サート・相談事業などを行っている。中核地域生

9月定例会 議員別の採決結果一覧

◆9月定例会の傍聴者数 78人

議案名等		審議結果	小野	小林	田代	奥村	鈴木	高木	高木	宇野	伊能	林	田山	高岡	眞本	坂部	伊藤	柳田	坂本	林	河野	平松	堀越	根本	木内	宇井
議案第1号(総務企画)	平成26年度香取市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号(福祉教育)	平成26年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号(福祉教育)	平成26年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号(経済建設)	平成26年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号(福祉教育)	平成26年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号(福祉教育)	平成26年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号(経済建設)	平成26年度香取市太陽光発電事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号(経済建設)	平成26年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号(経済建設)	平成26年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号(福祉教育)	香取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号(福祉教育)	香取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号(福祉教育)	香取市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号(総務企画)	香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号(総務企画)	香取市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号(総務企画)	香取市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号(総務企画)	香取市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号(福祉教育)	香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号(福祉教育)	香取市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号(福祉教育)	香取市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号(経済建設)	香取市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号(総務企画)	香取市市民センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号(福祉教育)	香取市地域活動支援センターあけぼの園及び第2あけぼの園の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号(福祉教育)	香取市地域活動支援センターおみがわの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号(福祉教育)	工事請負契約の変更について(佐原文化会館耐震補強・大規模改修工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号(総務企画)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第4号 平成26年度香取市一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号(決算審査)	平成25年度香取市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号(決算審査)	平成25年度香取市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号(決算審査)	平成25年度香取市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号(決算審査)	平成25年度香取市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号(決算審査)	平成25年度香取市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号(決算審査)	平成25年度香取市観光事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号(決算審査)	平成25年度香取市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号(決算審査)	平成25年度香取市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号(決算審査)	平成25年度香取市火葬場事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号(決算審査)	平成25年度香取市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号(決算審査)	平成25年度香取市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第12号(決算審査)	平成25年度香取市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第13号(決算審査)	平成25年度香取市簡易水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第31号(経済建設)	赤道用途廃止に係る調査と復元を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 議長(伊藤友則議員)は、採決に加わりません。 議案番号下の()は、審査を付託した委員会名です。 ○：賛成 ×：反対

12月定例会開催中です

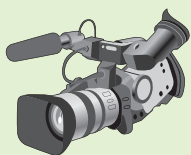
- 10月29日(水) 本会議
- 31日(金) 本会議
- 11月7日(金) 本会議(一般質問)
- 10日(月) 本会議(一般質問)
- 12日(水) 総務企画常任委員会
福祉教育常任委員会
- 13日(木) 経済建設常任委員会
- 18日(火) 本会議

市議会会議録の閲覧・議会中継の視聴について

◆ 香取市ホームページから市議会のページを選択されるか、香取市議会ホームページから「会議録検索」・「議会中継」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録の閲覧や議会中継の視聴ができます。
会議録・・・9月定例会の会議録がご覧いただけるのは、11月下旬になります。
その他に市役所(本庁)1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館でも閲覧できます。

議会中継・・・定例会・臨時会のライブ中継は、香取市議会ホームページ及び本庁・各支所で視聴ができます。また、録画映像は、おおむね1週間後から視聴できます。

9月定例会のライブ中継視聴件数 延べ 597件



☆ 香取市ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/>
☆ 香取市議会ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>
詳細は、議会事務局までお問い合わせください。TEL 50-1217